

樹木、校庭管理のポイント

13 放置区画の設定

Point

- ・草刈りを行わない区画
- ・周囲から触察できる



盲学校校庭の緑地部分では、丁寧な草刈りがされていることが多いと思われます。樹木観察の際にも、観察対象木の周辺がやぶでは歩行や観察に支障がありますから、草が刈られていることは望ましいことです。しかし、樹木観察ではポイント6で示したように稚樹にも重要な意味がありますから、草刈りによって自生した稚樹が刈り取られてしまうのは大変残念なことです。そこで、観察対象木の近くに、草刈りを行わない放置区画を設定することが考えられます。放置区画は1m四方ほどの地面を杭とロープで囲い、その中は草刈りを行わずに放置するものです。放置区画には、近隣の樹木から落ちた種子から稚樹が発生してきますので、区画の周囲から手を伸ばして触察することができます。